

みんなでANZEN

No. 5

〈知ってる？防災の日・防災週間〉

9月1日は防災の日でした。また、8月30日から9月5日までは防災週間と定められていました。ニュース等で訓練の様子などが取り上げられていたので、見た人も多かったと思います。

では、どうして9月1日が防災の日と定められたのでしょうか？それは、下のような過去の出来事があったからです。

大正12(1923)年の9月1日午前11時58分、震度7の大地震が関東地方を襲い、142,807名の尊い人命を失いました。(関東大震災)

防災の日は、これを教訓として、政府・地方公共団体はもとより、広く国民が、台風・豪雨・洪水・地震・津波などの災害についての認識を深めるとともに、こうした災害に対する備えを充実強化することにより、災害に未然防止と被害軽減に役立つための目的で、伊勢湾台風が来襲した翌年の昭和35年(1960年)に閣議決定しました。

また、8月31日は「二百十日」でした。

暦の上では、立春から数えて210日目を、特に「二百十日」と呼びます。ちょうど稲の開花期に台風が来たり強風が吹き荒れることに注意を促したしきたりと言えます。

今年は、まさに8月30日に台風10号が接近し臨時休校になりました。幸い、この地方では大きな被害がなかったですが、岩手県や北海道では甚大な被害をもたらしました。今は台風シーズンですので、これからも台風情報に気を付けなければなりません。

そこで、9月の防災学習の日では、「地震・津波以外の災害」について学ぶ授業を行いました。

生徒の皆さんも、この機会に、地震・津波だけでなく、さまざまな災害についての知識を深め、防災・減災に対する意識をより一層高めてほしいと思います。

〈点検しましたか？〉

夏休み前に配付したプリントで、「休み中に各家庭の備蓄品や非常持ち出し袋の点検などをしましょう。」という呼びかけをしました。やってみたでしょうか？まだの人は、時間を見つけて確認してみましょう。

